



**二十歳の声**  
**新成人代表 和田 友佳里さん**

二十歳となり、今、私たちはそれぞれの道を歩いています。就職して働いている人、また、将来の夢のため勉強している人、様々です。選んだ道は一人ひとり違います。それぞれが自分のやり方で、自分の信じた道を一生懸命歩んでいます。

私は、一年間の浪人生活を経て、昨年の春、晴れて大学生になることができました。現在、山口市で充実した大学生活を送っています。昨年



親元を離れ、寮に入って生活した浪人生活の一年は、私をひとまわりもふたまわりも大きく成長させてくれました。毎日の勉強の中で、一緒に頑張る仲間への思いやりや、努力することの大切さ、また厳しさを知りました。しかし、やはり一番感じたのは、家族や支えてくれる人の存在がいかに大きいかということ。人は必ず誰かに支えられ、また、誰かを支えて生きています。このことに気付いた時、人は大きくなれると思います。支えてくれる人を大切に、また、誰かの力になりたいと思う。私たちは支え合って生きていくべきことを、二十歳を迎えた今、改めて心に刻み、忘れることなく生きていきたいと思っています。

私は、長門市で生まれ、長門市で育ったことを誇りに思います。確かに、田舎で、大きなショッピングセンターもなければ都会のイルミネーションもありません。しかし、たく

さんの縁があり、棚田があり、夏の夜の海には漁火があります。豊かな自然は私たちにとって大きな財産です。この自然は私たちの子どもに伝えていかなければならないと思います。また、故郷を離れ、改めてこの町の人々の温かさを感じました。ずっと一緒に育った友だち、お世話になった先生方、近所のおじちゃんおばちゃん、私がこれまでこの町で出会ったすべての人も私にとっての宝物であり、これからも私の中で大きな存在であり続けるでしょう。

私が今伝えたいこと、それは大切な「出会い」。でも、その出会いを大切にすること。その出会いで何が変わるかもしれない。また「ありたい自分」であるために努力すること。そんな人は輝いているし、何よりも人生を楽しんでいる。そんな気がします。そして、私たちは支え合って生きていくことを忘れずにはなりたいと思います。

# 平成20年 成人式



569人が大人の仲間入り



1月3日、ルネッサながとで平成20年成人式が行われ、新成人398人(対象者569人)が出席しました。式典では、松林市長が「おめでとうございます。成人式は大人に成長していく過程の通過点です。立派な社会人として、常に自分の行動に責任を持ち、それぞれの生き方をしっかりと考えてください」とあいさつ。新成人を代表して安森洋介さん(通4区)が記念品を受け取り「成人として何事にも責任をもって行動していきたいと思えます」とお礼を述べました。「二十歳の声」として和田友佳里さん(東後畑)が新成人としての決意を述べました。

式典後は、アトラクションとして「三隅清風太鼓」による門出の和太鼓演奏が披露されたほか、地区別の記念撮影も行われました。

